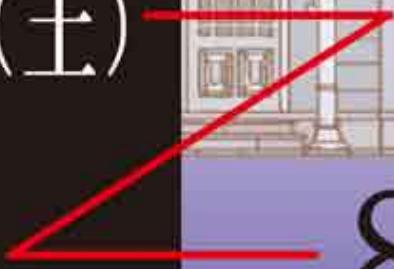


幕末動乱と統一山形

転換点

ターニングポイント

6/2(土)



明治の 山形県師範学校

8/19(日)

開館時間 9時～16時30分（16時まで入館できます）
休館日 月曜日 ただし7月16日（月・祝）開館、翌17日（火）休館
8月6日（月）・13日（月）特別開館
入館料 大人300円（20名以上の団体150円）、学生150円（20名以上の団体70円）
※高校生以下無料、障がいの方と付添の方は無料

山形県立博物館

〒990-0826 山形市青城町1-8（霞城公園内）
TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112
URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

開館時間 9時～16時30分（16時まで入館できます）
休館日 月曜日 国民の祝日（7月16日（月・祝）8月11日（土・祝））
入館料 大人150円（20名以上の団体70円）、学生70円（20名以上の団体40円）
※高校生以下無料、障がいの方と付添の方は無料

山形県立博物館教育資料館（分館）

〒990-0041
山形市緑町2-2-8
TEL 023-642-4397
FAX 023-642-4403

「転換点——幕末動乱と統一山形——」

ターニングポイント



山形県下名所図会



旧山形藩士軍衣(個人蔵)



三島通庸佩刀

本館会場

今年は近代日本の幕開けともいえる「明治」が始まって百五十年という節目の年にあります。「明治」を中心のようすに捉えるかは、個人の考え方や歴史観によつて様々です。

しかし、間違いなく日本は百五十年前に大きな転換点(ターニングポイント)にありました。国内外の脅威に押さぶられた江戸幕府が崩壊し、新たな明治政府は日本の近代化を目指し急進的な改革を進めました。

この「明治維新」と呼ばれる一連の動きは、当然のように中央の明治新政府からの視点で語られることが多いのですが、全国的・地域的な視野がなければ見えこない一面もあります。もちろん現在の山形県内にも幕末・明治維新的激動はあったはずですが、その実態やそこに至るまでの経緯などは、知られていないことも多くあります。

本展では、かつて山形県におかれていた諸藩の動きを改めて見直し、戊辰戦争、奥羽越列藩同盟の成立と瓦解等動乱の時代を経て、統一山形に至るまでの過程をご紹介します。

関連行事

◇記念講演会

第1回	6月2日(土)	13時30分～15時
講師	岩井 香氏	

第2回	7月8日(日)	13時30分～15時
講師	栗原 伸一郎氏	

(公財)上山城郷土資料整理事	演題	「吉田大八・再考(庄内藩征討との関わりのなかで)」
	講師	岩井 香氏

(東北大学大学院文学研究科)	演題	「黒羽越列藩同盟と南出羽地図
	講師	栗原 伸一郎氏

◇展示解説会

6月17日(日)

7月1日(日)

7月16日(月・祝)

8月5日(日)

※いずれも
13時30分～14時
本館第3展示室にて

演題
「黒羽越列藩同盟と南出羽地図
　　・米沢藩・小笠・飛ひ地ー」
　　(東北大学大学院文学研究科)

学術研究会

※いずれも本館講堂にて

「明治の山形県師範学校」

教育資料館会場

明治五年「学制」が公布され、わが国において近代教育が歩み始めました。新しい教育の啓蒙及び普及、教員の養成等、地方において建設され、同校は飛躍発展の時代を迎えたのが各府県に設置された師範学校でした。

本県では、明治十一年に県令三島通

によって山形県師範学校が設立され、初代校長には旧米沢藩士菅原萬信が就任

共に教育の近代化に力を尽しました。



銅版画範学校



柱頭飾り

◇展示解説会

6月9日(土)

7月14日(土)

※いずれも
13時30分～14時
1階展示室にて



本館交通アクセス

徒歩：JR山形駅西口から約10分

車：山形道山形蔵王ICより5km(約15分)

東北中央道山形中央ICより3km(約10分)

【教育資料館交通アクセス】

バス：JR山形駅東口より「沼の辺行き」

または「千歳公園行き」に乗車。

ともに「北高前」下車